



# What ISIT?

ISIT : Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

編集 ISIT事業部 岡部 浩一

## 亀尾電子情報技術院とMOUを締結

〈平成21年5月19日〉

～新たな交流始まる 韓国 亀尾市～

5月19日、韓国の亀尾(グミ)市にある亀尾電子情報技術院(GERI)の方々をご来訪され、ISITと研究交流のMOUを締結いたしました。亀尾市は大韓民国慶尚北道(キョンサンブクド)の南西部に位置し、1970年代初め(朴大統領政権時代。同大統領は亀尾市の出身。)に政府の輸出政策によって工業団地が造成され、現在では韓国内陸最大の先端輸出産業団地(特にIT産業の中心地)へと成長しています。亀尾市は積極的に世界各国から企業を誘致しており、既にいくつかの日本企業も進出を果たしています。現在約800人の日本人が現地に滞在しています。

今回のMOUを受けて、ISITは日韓双方のさらなる技術発展に寄与するべく、GERIとの研究交流活動を計画しています。



調印後握手をする亀尾電子情報技術院の李院長(左)とISIT新海所長



亀尾市の位置



亀尾電子情報技術院(GERI)

## 福岡市産学連携交流センター開設一周年記念行事開催

〈平成21年7月1日〉

### 小江教授らナノテクの研究者が一年間の成果をアピール

7月1日に福岡市産学連携交流センター(以下、交流センターとする)の開設一周年を記念して、記念講演会・交流会が開催されました。

交流センターは、大学等の知の集積とポテンシャルを活用し、国内外の研究者・企業等の連携交流を促進し、新しい事業・産業の創出、地場企業の活性化、企業・研究機関等の立地促進を図り、地域経済の発展と九州大学学術研究都市づくり資するための中核施設として、昨年4月1日に開設され、民間企業・九州大学の研究室が入居しています。ISITのナノテク研究室もここに入居しています。



福岡市産学連携交流センター



挨拶する吉田福岡市長



小江 誠司 教授



新海名誉センター長

記念講演会では、交流センターに研究室を構える小江 誠司 教授(九州大学大学院工学研究院)により、『水素からの電子ネットワーク』のテーマで「如何に水素から電子をとりだすことに成功したか」について講演されました。小江教授は今年3月に、平成20年度日本学術振興会賞(※)というたいへん権威ある賞を受賞されました。これは交流センターにとって初の、大きな学術賞受賞者となります。続いて交流センターに入居する九州大学大学院工学研究院の神谷典穂准教授より『医療と環境に資するバイオエンジニアリング』、日産化学工業株式会社の田中 章博研究員より『日産化学における産学連携を活用した新製品開発』、ISITナノテク研究室からは白木 智丈研究員が、『100万分の1mmの世界から作り上げるナノテク新素材』のテーマでそれぞれ研究発表が行われ、出席していた企業に対し研究シーズを積極的にアピールしました。最後に交流センターを代表して、名誉センター長であるISIT所長の新海が総評を述べ、今後とも変わらぬご支援をお願いし、終了となりました。

化学の分野はこれまで日本が得意としてきた研究分野で、強い産業分野でもあります。日本が引き続きこの分野で世界をリードしていくためにも、交流センターをはじめとする産学官連携の取り組みがますます期待されるところです。

**(※)日本学術振興会賞**

日本の学術研究の水準を世界のトップレベルにおいて発展させるために、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者を早い段階から顕彰し、その研究意欲を高め、研究の発展を支援していく趣旨から、平成16年度に日本学術振興会が創設した賞。審査委員には江崎玲於奈、野依良治、小柴昌俊など、ノーベル賞受賞者が名を連ねている。(日本学術振興会HPより引用)

システムLSI研究室

〈平成21年5月21日〉

第3回 カーエレクトロニクス研究会

昨年後半からの未曾有の世界同時不況の煽りを受け、自動車業界だけでなく、産業界全体が生産縮小・労働者削減という厳しい状況であります。各国の景気対策と環境ビジネスへの注力の効果が一部では出てきているようにも思えます。



国内自動車市場では、環境性能に優れた車への税制優遇と補助金そして国民の環境意識の高揚から、ハイブリッド車が販売台数のトップに立つという新しい兆候が見えています。そのような環境の中、ISITシステムLSI研究室が発起人となり活動しているカーエレクトロニクス研究会の第3回目を、日本の自動車産業の中心地『愛知県』名古屋にて開催いたしました。名古屋での開催は初の試みであったにもかかわらず大勢の方に参加いただきました。

高田広章教授(名古屋大学)による基調講演では、車の機能が高度化・大規模化していく現状において、短期間で高品質なシステム開発を実現するための抽象設計や、資産の再利用及びプラットフォーム共通化による開発効率の向上など、いくつかの手法についてご紹介がありました。

当日の講演テーマと発表者は以下のとおりです。詳しい情報についてはホームページをご覧ください。

**【講演テーマと発表者】**

- 『車載組込みソフトウェア開発の現状と今後』……………高田 広章 氏(名古屋大学 教授) **※次回の第4回カーエレクトロニクス研究会は、9月17日(木)東京での開催を予定しています。**
- 『活性化する九州の組込みソフトウェアのコミュニティ活動』……福田 晃 氏(九州大学 教授)
- 『情報と制御による自動車の省エネルギー化と安全性の向上』…川邊 武俊 氏(九州大学 教授)
- 『ECU開発用モデル流通市場の創設に向けて』……………村上 和彰 (ISIT 副所長)
- 『自動車における組込みシステムのセキュリティ』……………中野 学 氏((独)情報処理推進機構 主任)
- 『活動提案:"What to Provide" Working Group』……………山崎 進 氏(北九州市立大学 講師)
- 『九州大学オートモーティブサイエンス専攻の紹介』……………川邊 武俊 氏(九州大学 教授)

カーエレクトロニクス研究会ホームページ(発表資料掲載) (<http://www.car-electronics.jp/>)

## モノづくりとはちがうサービス産業の技術 ～数学が産業の中心となる～

4月22日、第63回ISIT定期交流会を開催いたしました。今回は株式会社スタージェン情報解析研究所の所長であられる鎌谷 直之氏にご講演いただきました。鎌谷氏は昨年まで東京女子医科大学でリウマチ研究の第一人者として活躍されていましたが、現在は以前から挑戦されていた情報解析・統計学の分野に専念されています。講演では情報解析・統計学が日本のサービス産業にとっていかに重要な鍵を握っているか、例を挙げて紹介していただきました。講演終了後に開かれた交流会にも大勢の方が参加され、日本のサービス産業のあり方について、深く意見交換を行いました。



鎌谷 直之 氏

(以下、講演概要)

“百年に一度の”と言われている今回の世界同時不況は、欧米が発信源であるにもかかわらず、日本や韓国の方がそれ以上に大きく影響を受けています。これは外需依存型の経済であるが為の結果であり、輸入国が不況になれば需要は減り、必然的に私たち輸出国の経済も大きく影響を受けます。今回の世界同時不況は、私達の想像以上に経済のグローバル化が進んでいること、またそのグローバル化の中で日本企業は激しい競争にさらされていることを再認識させられた出来事でもありました。

日本の産業にとってモノづくりの重要性は言うまでもありませんが、加えてサービス産業の比率を大幅に向上させる必要があると思います。しかも電子製品や自動車などの高価値な製造業が日本を支えてきたように、サービス産業も高価値な内容にする必要があります。高価値のサービスを提供するためには、製造業とは異なるサービス産業のテクノロジーを発達させる必要があります。

モノづくりとサービス産業の大きな違いは、前者が「確実性と均一性」を特徴とするのに対し、後者は「不確実性と多様性」を特徴としています。モノづくりには確実性が欠かせず、確実な過程を繰り返せば均一なものを大量に作ることができますが、サービス産業の対象は、不確実な遺伝過程を繰り返すことによって形成された多様な人間です。よってサービス産業のテクノロジーを発達させる技術というのは、不確実性と多様性に挑戦する技術であり、それはまさに多様な結果を常に収集・分析する情報解析と統計学であると考えます。

第3回 ISITナノテク先端セミナー  
有機薄膜の可能性について語る

6月16日、第3回ISITナノテク先端セミナーが開催されました。今回のセミナーは講師に(独)産業技術総合研究所(産総研)より阿澄 玲子氏(産総研分子薄膜グループリーダー)と、丹波 修氏(産総研分子認識研究グループリーダー)の二人をお迎えし、それぞれ「有機半導体材料の構造・パッキング・配向と電気特性～有機薄膜トランジスタ～」、『超平坦スパッタナノカーボン薄膜による高感度電気化学センシング～材料・性能・デバイス構成・応用～さらなる展開～』のテーマでご講演いただきました。ナノ材料を「機能させる」「高感度計測する」というホットな最先端技術が紹介されました。交流センターで開発されつつあるナノ材料との将来の融合が期待されます。



阿澄 玲子 氏



丹波 修 氏

昨年の夏より不定期に開催しているナノテク先端セミナーですが、回を重ねるごとに参加人数も増え、今回のセミナーには地元九州大学に加え、熊本の崇城大学より10名もの学生が参加しました。

ナノテク研究室はこのセミナーを産学官の知識交流の場、さらには新たな連携構築の場と位置づけ、研究者同士のつながりや地域への拡がりを深めてまいります。



〈平成21年6月19日〉

## 平成21年度 九州地域組込みシステム協議会(ES-Kyushu)総会開催

6月19日、平成21年度九州地域組込みシステム協議会(ES-Kyushu)総会及びセミナー・交流会が開催されました。ES-Kyushuは組込みシステムに関する組織・企業の連携、課題解決、情報発信力・競争力の強化を図り、新事業・新産業の創出等をもって九州経済の発展に寄与することを目的に様々な活動を行っています。



今年度の総会では会員の事業紹介として『ソフトウェアプロダクトライン』の取組みが紹介されました。セミナーでは、日経BP社(日経ものづくり発行人/日経マイクロデバイス発行人/Green Device Magazine発行人)の望月 洋介 氏より「エレクトロニクスの将来を支えるGreen Device」、元本田技研工業株式会社 取締役専務の宮田 勝 氏より「ホンダの環境への取り組み」、九州経済連合会情報通信委員会企画部会長の山崎 正幸 氏より「産業界におけるCO<sub>2</sub>削減の取組み」についてお話いただきました。セミナー及び交流会には100名を超える参加があり、盛会裏に終了いたしました。

【お知らせ】 AT International 2009 に出展しました!

ES-Kyushuは7月15日～17日に横浜で行われた AT International 2009に参加し、九州での産学官連携の取組み紹介とベンダーのソリューションや製品の展示を行いました。このときの模様は第53秋号で紹介する予定です。

Welcome

## ご来訪の皆様

平成21年4月以降の主なご来訪者(敬称略)

### 貴重な情報交換、誠に有難うございました。

#### インド暗号学会 ビマル・クマール・ロイ 教授

〈平成21年4月17日〉

インド暗号学会のビマル・クマール・ロイ教授が、三年前にISITと交わしたMOUの更新のために、JSPS戦略的国際科学技術協力推進事業「日本-インド研究交流」支援のもとで、来訪されました。



今後もISITの情報セキュリティ研究室と積極的な研究交流を行っていきます。

#### カナダ大使館

〈平成21年5月21日〉

カナダ大使館のピーター・マッカーサー公使参事官が九州経済視察の一環でISITを訪問されました。同氏は、『九州には半導体や自動車産業が集積していて、たいへん興味深い地域です。』と、今回の視察理由を述べられました。



#### 無錫市視察団

〈平成21年6月9日〉

中国江蘇省にある無錫市の視察団が来訪されました。

無錫市には日本企業が数多く進出しています。福岡の企業にも是非進出していただきたいと述べられました。



#### 福岡・釜山経済協力協議会

〈平成21年4月28日〉



経済交流を深め、国境を越えた「広域経済圏構想」の実現を目指すために発足した福岡・釜山経済協力協議会の釜山側メンバーがISITを訪問されました。

## 新専務理事(事務局長兼任)林田 正統 ごあいさつ

このたび、(財)九州先端科学技術研究所の専務理事(兼事務局長)に就任しました林田 正統(はやしだ まさつぐ)と申します。今から20年前の平成元年に、ISITのあるこの百道浜においてアジア太平洋博覧会(愛称:よかとピア)が開催されていました。

当時私は桑原市長の秘書を務めていた関係で、よかとピア開催期間中は頻繁にこの地に足を運んだものです。それから20年後の今、再びこの地に通勤することとなり、何かの縁を少なからず感じております。

私は福岡市役所出身で、今までは主に人事、総務、法制関係の業務に携わってまいりました。平成7年当時、私は総務局企画調整部長を担当していて、ISITの財団を立ち上げる政策決定に係ったひとりであります。平成8年には福岡ケーブルネットワーク株式会社(FCN、現在のJ:COM 福岡)設立にも携わり、当時のことは今でも印象深く思っています。その後、城南区長、中央区長、福岡市住宅供給公社専務理事、福岡市人事委員会事務局長、(財)福岡市森と緑のまちづくり協会理事長、(社福)福岡市社会福祉協議会常務理事を経て、今回のISIT専務理事就任となりました。ISITの設立から13年経過いたしますが、昨年からは新海所長が就任されて新たにナノテク分野が加わり、ISITのミッションも増えた分、期待も大きくなったと理解しています。その期待に応えられるよう、私も微力ながらこれまでの経験を生かし、新生ISITに貢献出来るよう努力してまいりまいる所存でありますので、皆様どうぞ宜しくお願いいたします。



林田 正統

## その他の新スタッフ

総務部長兼新産業支援室長  
宮川 富子

プロジェクト推進部部員  
三浦 賢吾

システムLSI研究室研究助手  
アドリアン・クラーク

4月1日付けで、福岡市役所からISIT総務部長兼新産業支援室長に赴任しました宮川 富子(みやかわとみこ)と申します。現在の百道地区は旧(財)アジア太平洋センターが福岡タワー内に入居していた10年前に比べると、JSTイノベーションプラザ福岡や福岡システムLSI総合開発センターの開設など、IT関連施設の集積がより一層進んでおります。私はこれまで、まちづくりや情報システムなど様々な仕事に従事してまいりました。これまでも印象に残っているのは、国際展示会への出展勧誘のため各国大使館を行脚したことや、アジア太平洋都市観光振興機構の観光展や国際新華商会議の開催、アジアマンス事業などに従事したことです。ISITでは、先端科学の未知なる世界と格闘する日々ですが、産学官連携の下『システム情報技術をはじめ先端科学技術等に係わる産業の振興に資する』というISITのミッションに向け、一日も早く皆様のお役に立ちたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。



宮川 富子

はじめまして、三浦賢吾(みうら けんご)と申します。2009年4月1日付けで、(株)BCCより出向し、ISITのプロジェクト推進部に赴任いたしました。(株)BCCでは入社以来2年間、百貨店系のシステム開発に携わっておりました。そこでは主に、俗に言うバッチ系の処理や、WEB画面から顧客管理・商品管理を行えるようなアプリケーションの製造に従事しておりました。ISITでは主にプロジェクト管理業務に携わるようになったのですが、これまで全く経験したことのない未知の分野なので、『日々勉強』の毎日です。少しでも早く、ISITのミッションに貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



三浦 賢吾

皆様はじめまして。アドリアン・クラークと申します。私はフランスのボルドーに在るENSEIRBと言うグランゼコールの学校とボルドー大学の学生で、今年9月に二つの学校を卒業し、修士号を取得する予定です。学校では電子工学関係の学科で専門知識を学びながら、様々なプロジェクトにも取り組んでおりました。昨年の夏にインターンシップで九州大学に留学して、福岡の町がとても気に入りましたので、今回研究助手としてISITに迎えていただき、再び福岡に戻ってこられたことを大変うれしく思っています。

機会を与えてくださった研究所の皆さまにはとても感謝しています。限られた期間ですが、今まで勉強してきた経験や知識を活かし、研究成果に繋げることができるよう最大限に努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いします。



アドリアン・クラーク

# ISIT生活支援情報技術研究室の研究開発に注目集まる

①ROBOMECH 2009へ参加 ②TV取材 ③市長・知事に研究成果をアピール

## ① ROBOMECH 2009 in Fukuokaに参加

(平成21年5月24～26日)

5月24日から3日間に渡り、ROBOMECH 2009 in Fukuokaが福岡国際会議場にて開催され、ISITの生活支援情報技術研究室が参加いたしました。ROBOMECHは、日本機械学会ロボ・メカ部門が主催する、ロボティクスとメカトロニクスに関する国内有数の大きな学術講演会です。



生活支援情報技術研究室は学会発表に加えて、会場で車いすロボットを展示し、また最終日の26日には福岡アイランドシティにおいてR-GIS(ロボットGIS)システムの技術を実演紹介しました。今回の福岡大会には、3日間で国内外から1500人以上の登録参加があり、最新ロボット技術への注目度の高さが伺えました。

## ② TVQ番組『それ行け!ふくおか探検隊』出演

(平成21年6月12日)



福岡県の子供向け広報番組『それ行け!ふくおか探検隊』(TVQ放送)の取材を受けました。当日は番組のレポーターと一緒に、ISITが研究開発をしている『見守り車いすロボット』の紹介をいたしました。(7月13日放送)この日の模様は、福岡県のホームページから視聴することができます。

福岡県のホームページ - 広報TV番組 - それ行け!ふくおか探検隊

(<http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/>)

## ③ 平成21年度ロボット産業振興会議定期総会に参加

(平成21年6月30日)

6月30日に、平成21年度ロボット産業振興会議定期総会が開催されました。総会のはじめに利島康司 会長、麻生福岡県知事に続き、吉田福岡市長が挨拶を致しました。吉田市長はロボット開発・実証実験特区に指定されている福岡市での、昨年度の公道及び特定施設での実証実験の回数に触れ(公道での実証実験回数は日本一)、福岡市はこれからもロボット産業振興の牽引役を果たしていくと決意を述べました。総会後には講演会・研究事例発表が行われ、各参画機関より、市場分析や製品販売までの道のりといった発表がなされました。



会場の皆さんもロボット産業の課題である新しい市場の創出について、大変関心がある様子でした。

## 第31回 ISIT技術セミナーのお知らせ

日時:平成21年8月25日(火) 15:30～17:00

会場:福岡SRPセンタービル2階 SRPホール

テーマ:『SiC(炭化ケイ素)パワーデバイス概論と  
グリーンITへの応用(仮)』

講師:四戸 孝氏

株式会社東芝 研究開発センター

電子デバイスラボラトリー 研究主幹

■問い合わせ

TEL 092-852-3451 事業部 担当 吉田・牧野

ISITメールマガジンでは、ISIT主催の定期交流会や各種セミナーの情報、定期発行のお知らせ、現在公募中の情報など配信しております。

<http://www.isit.or.jp/magazine/from.html>よりお申し込みいただけます。

発行

財団法人 九州先端科学技術研究所 ISIT  
Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies  
〒814-0001  
福岡市早良区百道浜2丁目1-22-707(福岡SRPセンタービル(ももちキューブ)7F)  
Fukuoka SRP Center Building (Momochi Cube) 7F 2-1-22, Momochihama,  
Sawara-ku, Fukuoka City 814-0001  
TEL 092-852-3450 FAX 092-852-3455  
URL:<http://www.isit.or.jp> E-mail:[koryu@isit.or.jp](mailto:koryu@isit.or.jp)  
制作:ダイヤモンド印刷株式会社

